



日本有数のマンモス小学校がある 地域で防災活動から繋がりを! ～地域の繋がりが災害時の力となる～



京都府木津川市城山台自主防災会
イベント部長 井上 拓也

1 城山台地域の紹介

城山台地域は、京都府南部の木津川市に所在し、十数年前に開発された新興住宅地です。小学校は1学年が9～10クラスあり、全校生徒は1,800人を超えています。住民は、子育て世代が多く、自治会等の加入率は減る一方で、住民同士の繋がりは希薄になっています。また、耐震性の高い住宅が多く高台であることから、防災意識は低いのが現状です。さらに、液状化の危険性があることや他の地域に繋がる主要道路が土砂災害警戒区域に指定され、最悪の場合、孤立する可能性があるため、防災意識の向上が喫緊の課題となっています。

2 城山台自主防災会の紹介

2020年に設立し、役員は30～50歳代で、主に各自治会の防犯防災役員が務めています。構成員は、主婦、消防士、警察官、市職員、会社員等で地域防災力向上のため、仕事、子育て、地域活動に加えて、自主防災活動に励んでいます。

3 防災は地域の繋がりから

「防災活動により地域の繋がりを深め、地域防災力を向上させる」をモットーに親子で楽しめる体験型イベントの開催、地域のお祭りへの出展、小学校での防災授業、市防災訓練への参加、地区防災計画の作成及び更新を実施しています。

イベントの企画にあたっては、遊園地に行くことのように家族のイベントとして親子で参加できる「楽しく、体験型、学ぶではなく触れる」をイメージした内容としています。商業施設でのイベントでは、観光バスの非常口からの避難方法、ドローン操縦体験、消防のレスキューチームが行うロープレスキュー体験、救助袋での避難体験、ショベルカーでボールすくい体験等、産学官民25の出展者の連携により、防災を意識せず、楽しく体験することで自然に防災に触れているというイベントとすることができました。

4 成果

イベント等を通じて自治会、地域団体、学校、地域企業、他の自主防災会、危機管理課との連携が増え、徐々にですが、顔の見える関係を築くことができていると感じます。

イベント出展企業のアンケートでは、「城山台の地域力に脱帽した。」や「楽しみながら防災に触れられる良いイベントだ。」等の評価をいただきました。また、参加者からは、展示していた感震ブレイカーを見た方が「すぐに買いに行く。」や「この前、防災教室をしてくれた人ですね。」との声があり、地域の繋がりが強くなっていると感じることが増えています。

さらに、自治会から防災教室の依頼をいただき、「クイズなどのゲーム形式で子供

達も楽しく学べました。」等、アンケート回答者の全てが大変有益であったと評価をいただきました。そして、マイタイムライン作成体験会においても「実際にどのような災害があって、どのように行動すればよいか分かった。」等の意見があり、大変有益が70%、有益も含めると100%の評価をいただきました。

今年度は、小学校で防災授業を実施する機会をいただき、1年生から5年生まで各1時間、災害時の身の守り方、避難所の

ベッドについて、災害時のトイレについて、非常持ち出し袋の中身について、災害時のごはんについて実施予定です。授業の資料データは連絡網で保護者にも共有され、親子で防災について考える時間をもってもらえようとしています。まだまだ、課題も多くありますが、今後も、「災害時には地域の繋がりが力を発揮する」をモットーに親子で楽しめるイベント企画を実施し、城山台地域全体の繋がりを深めていきます。



自治会向け防災サマースクール



マイタイムライン体験会



体験型イベント「城山台であそぼうさい」



「城山台であそぼうさい」出展者集合写真